

ワークシート「理想的な国際協力の在り方」

1年 組 番 氏名

<ステップ1> 「理想的な国際協力の在り方」についてあなたの考えを述べよ。

物を輸出するのみではなく、技術を伝え

日本人がいなくとも、そこでできる発展を目指す

協力の仕方が重要... 考えよう

<ステップ2> **エキスパート活動 (別紙)**

<ステップ3> **ジグソー活動** 自分以外の2人のエキスパートの内容を書き留めよ。また、「理想的な国際協力の在り方」についてグループの考えをまとめよう。

※自分のエキスパート (A・B・C)

1人目 (A・B・C)

JICA. 草の根技術協力事業.

村にいい、小規模農家が中心。バランスのとれた食料を確保し、作物を販売し、目標。

森崎さんに。↑ ガンビアの人は技術を学び

2人目 (A・B・C)

教入 ← ガンビアの農村社会に貢献。

食料援助。アフリカの植物が育ちにくい。→ 乾燥に強い、水灌漑作成。
(別紙)

「理想的な国際協力の在り方」についてグループの考え

一方的に援助するのではなく、自分達はそこから何かを学ぼうと姿勢を大事にして。

お互いに協力し、両方の国にメリットがあるような関係。

<ステップ4> **クロストーク** 他の人の発表を聞いて、参考になりそうなことは書き留めよ。

・あげる人-もらう人ではなく、互いに利益があるような関係

・援助を受ける国が自立できるようにすること。

<ステップ5> 今日の授業の内容を踏まえて、改めて、「理想的な国際協力の在り方」についてあなたの考えを述べよ。

片方が一方的に援助するのではなく、互いにメリットがあるような関係を目指す。援助を受ける国は自立できるように、援助を行う国は自立を助けるための協力が必要だと感じた。